

ロードバイクなどのスポーツ自転車は比較的軽量ですが、最近増えつつある電動アシスト自転車(E-Bike)は車体がまだ重い傾向にあります。調べてみたところ平均27~28kgの重量で、車体を持ち上げ、パンク修理するだけで大変な仕事になってしまいます。

そのような重い自転車を修理するときに役立つリペアスタンドがミノウラから新登場です。

重い自転車のパンク修理や軽修理の強い味方が新登場!

足踏み式昇降リペアスタンド ERS-1

重い自転車を持ち上げたり、屈んで作業する自転車屋さんの一番の職業病といえば腰痛だと言われます。そのような自転車屋さんの悩みを解決するため、開発されたのが今回ご紹介する「足踏み式昇降リペアスタンド ERS-1」です。

JAN	: 4944924411732
希望小売価格	: 88,000 円 (税込)
材質	: 鉄
重量	: 8.2kg
耐荷重	: 30kg
サイズ 幅	: 540mm
奥行	: 630mm
フック可動幅	: 640~1020mm



実際に使用している動画はこちらのQRコードから! (YouTubeリンク:<https://www.youtube.com/watch?v=KLz34C8Yi-s>)



ペダルを踏むだけの簡単操作

本体中央にあるペダルを一度踏むごとに約2.5cm サドルフックが上昇します。ワイヤーの取り回しが工夫されているため軽い力で重い自転車をパワフルに持ち上げることができます。

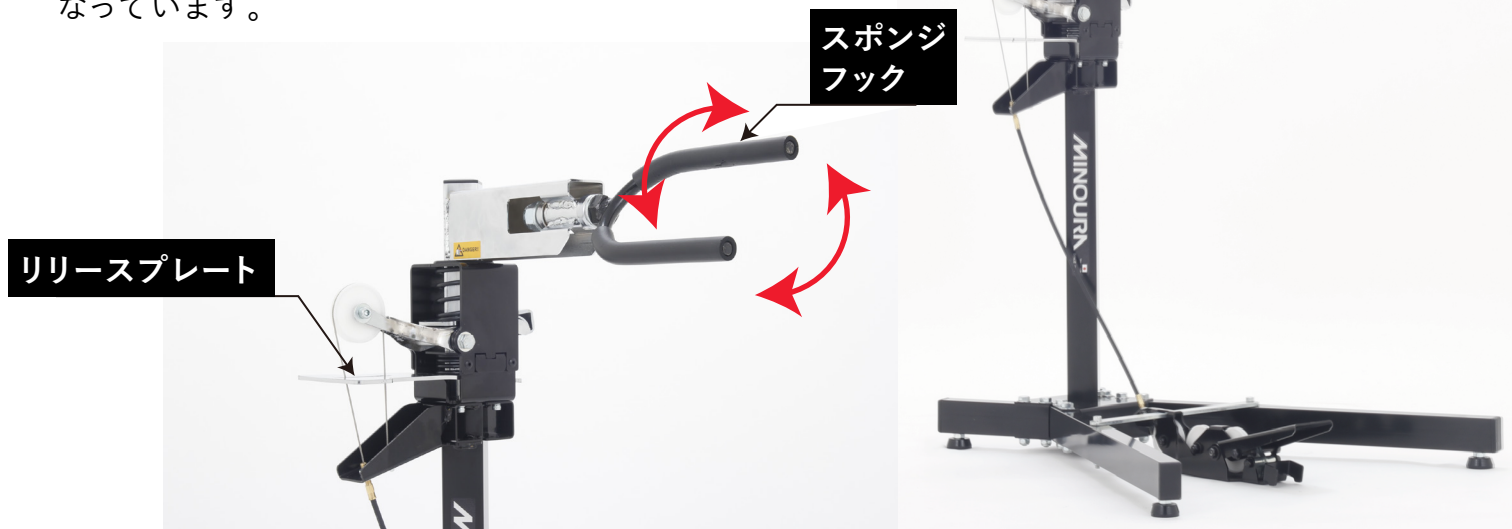
自由度の高い設計

フックの高さは640mm～1020mmまで、無段階にセットすることができます。大きい自転車から小さなキッズバイクまで幅広い自転車に対応します。

使用開始時サドルの高さにフックを手で引き上げるだけでセットでき、効率よく作業を進めることができます。

フックを下ろす時にはリリースプレートを押しながら支柱上面を押しフックを下げます。安全のためにわざとスムーズに下りないようにしてある点は使ってみるとその意味がわかります。

フックは360度回転し様々な自転車にフィットするほか、スポンジ素材で保護されているため、自転車を傷つけにくくなっています。



「ERS-1」のご先祖様…? 「W-400」と「EW-1」

既に終売していますが、ミノウラでは過去に「ERS-1」と似たコンセプトで「W-400」と「EW-1」を開発していました。

2000年に登場した「W-400」はガスダンパーを使用し、自転車を持ち上げる力をサポートするワークスタンドでしたが、当時はまだ電動アシスト自転車がそこまで普及しておらず、この製品のメインターゲットは、重量のあるダウンヒルバイクでした。

2017年になると電動アシスト自転車が一般に普及し始め、「ERS-1」と同様に一般の電動アシスト自転車をメインターゲットにした「EW-1」が登場しました。これはサドル高さにフックをセットし、10cmほど後輪を持ち上げるだけの製品でした。

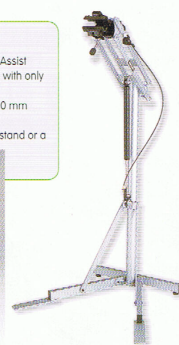
今回の発売される「ERS-1」は「EW-1」の後継として登場した製品で、その血脈をたどると25年前の「W-400」に行きつくのです。

W-400 "Gazzy"

Lift assist repair stand incorporates Minoura's Gas Cylinder Assist System. This means you can lift a 15 kgs bike (30.4 lbs.) bike with only 5 kgs (11.0 lbs.) of power.
Fully adjustable, Gazzy's jaws adjust between 805 and 1,350 mm and hold firm at any angle.
Heavy-duty steel frame makes this the perfect "pro-sumer" stand or a second stand for a bike shop.
Weight: 13.5 kgs / 29.8 lbs.



▲W-400



▼EW-1



MINOURA

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮134-1
TEL (0584)27-3131 / FAX (0584)27-7505
www.minoura.jp / infodesk@minoura.jp